

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 福岡県
本事業の担当部局名 福祉労働部こども未来課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分	一般メニュー						
関連事業メニュー	1.1.1 結婚支援センターに関する取組						
個別事業名	福岡県「企業・団体間マッチング支援センター」事業					新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間	令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	令和5年度
総事業費(A)(円)	40,051,018		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	40,051,018
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	40,051,018						
費用内訳 (円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	0	0	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
	総事業費	40,051,018	0	0	0	0	40,051,018
	対象経費支出予定額	40,051,018	0	0	0	0	40,051,018
対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通</p> <p>過年度に引き続き、出生数、合計特殊出生率、婚姻件数の低下に歯止めをかけるべく、出会いの場の創出を重点的に行うほか、若い世代に対するライフプランセミナー等を実施する。</p> <p>令和5年度に実施した「県民意識調査」によると、「一生結婚するつもりはない」との回答は約2割で、大半の独身者が結婚を希望している。</p> <p>未婚化・晩婚化の進行に歯止めをかけ、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるため、出会い・結婚応援をさらに拡充する必要がある。</p> <p><本個別事業の位置付け></p> <p>第2期「ふくおか子ども・子育て応援総合プラン」において、施策の柱として、「1 若者が結婚・子育てに希望を持つ社会づくりの推進」を掲げており、次代の親の育成、若者の就業支援と併せて、出会い・結婚応援を推進しているところである。本個別事業はその一環として、県内市町村や出会い応援団体と連携した結婚支援の取組を展開していく。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	企業・団体間マッチング支援センターの運営	<p>会員が結婚の希望をかなえられるようにするため、「企業・団体間マッチング支援センター」を本県の結婚支援センターとして位置づけ、以下の取組を行う。</p> <p>【イベント情報の発信】</p> <p>福岡県内に事業所があり、ボランティアで独身者への出会いの機会を提供する「出会い応援団体」が実施する出会いイベント情報等について、事業HPへの掲載およびメールマガジン「あかい糸めーる」、LINE「ふく♡こいLINE公式アカウント」にて情報発信を行う。</p> <p>【個別相談の実施】</p> <p>センター開所中(10時～18時、定休日:火曜日)は、希望に応じて対面や電話、メール、オンラインでの相談業務(登録・退会手続き、交際支援等)を行う。</p> <p>【企業・団体間マッチングイベントの実施】</p> <p>「出会い応援団体」に登録している企業・団体の要望に応じ異業種間交流や、体験型イベント等の開催を支援。</p> <p>【センターの役割】</p> <p>イベントの企画・提案、コーディネート、会場手配、周知用チラシの作成、申込から当日の受付業務、司会進行等、イベント運営</p> <p>【企業・団体の役割】</p> <p>会員企業等を通じて、独身社員へイベントの周知</p> <p>【会員募集案内、企業訪問】</p> <p>県内の独身者に対し、「出会い応援団体」やセンターで実施する出会いイベント情報や事業について広報するとともに、県内企業へ訪問し「出会い応援団体」への登録促進の働きかけを実施する。(チラシ4,850部、配布先:出会い応援団体3,000部、新規開拓企業:1,250部(250団体×5部)、県内市町村600部(60市町村×10部))</p> <p>【「ふく♡こいコミュニティ」の運営、AIによる登録者の分析と出会いイベントの開催】</p> <p>会員が登録したプロフィール情報や投稿内容を基に、AIが相性診断を行い、登録者を相性別にグルーピングする。そのあと、相性の良さそうなグループ同士の出会いイベントを開催することで、より交際・成婚につながる取組を実施する。</p> <p>【「ふく♡こいコミュニティ」の会員募集案内、企業訪問】</p> <p>県内の独身者に対し、「出会い応援団体」やセンターで実施する出会いイベントの参加者に対し、本サービス内容の周知及び会員の募集案内を行う。(チラシ4,750部、配布先:出会い応援団体3,000部、新規開拓企業:1,250部(250団体×5部)、出会い応援団体間イベント参加者500部(年間25イベント×20人(男女各10人))</p>				

2		
3		
<p><過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> センター利用者の声を踏まえ、独身者に対するサポートを継続して実施するとともに、本事業に賛同いただける「出会い応援団体」を増やし、社会全体で出会い・結婚を応援する気運を醸成する。また、AIを活用した結婚支援事業については、会員数の増加を図り、会員の要望に応じたサポートができる体制づくりを進める。</p>		

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	合計特殊出生率の上昇		%	1.26以上 (R11年度)	1.26 (R5年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.26 (R5)	
	婚姻件数		件	20,549 (R5)	
	婚姻率			4.1 (R5)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	出会いイベントの参加者数(企業間イベント含む)	人	9,220 (R7年度)	3,878 (R6.11月)
	②	「出会い応援団体」登録数	団体	3,250 (R7年度)	2,875 (R6.11月)
	③	サイトの会員登録数	人	1,500 (R7年度)	970 (R6.11月)
	④				
	⑤				
	(アウトカム)				
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	65	70 (R6.11月)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	60 (R7年度)	65 (11月現在)
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	——	——
	④	出会いイベントにおけるカップル成立率	%	44 (R7年度)	42 (R6.11月)
	⑤				
⑥					
⑦					
⑧					

(参考) 積算内訳書

1. 自治体名	福岡県	
2. 個票番号・個別事業名	③	福岡県「企業・団体間マッチング支援センター」事業

3. 本個別事業の寄付金その他の収入及びその内訳

No	収入区分	収入区分毎の内訳	寄付金その他の収入予定額 (円)
1			
2			
3			
4			
5			
計			0

4. 本個別事業に要する費用及びその内訳

No	経費区分	経費区分毎の内訳	総事業費 (円)	対象経費支出予定額	
				対象経費支出予定額	対象外経費支出予定額
1		別紙のとおり			
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
計			0	0	0

(経費区分ごとの合計)

区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
総事業費	0	0	0	0	0	0
対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
総事業費	0	0	0	0	0	0
対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0

(参考) 結婚支援センター及び結婚支援事業者の登録優待費用の内訳

(単位: 円、人)

番号	登録優待方法	1人当たり登録優待額(A)	登録優待予定人数(B)	諸経費(C)	合計(A×B+C)
1					0
2					
3					

※1人当たり登録優待額を複数設定する場合は、それぞれについて記入すること。